

落語っておもしろい!

Vol. 155

6/15 (木) 18:45~
出演: 蝶花楼 桃花 (落語)

春風亭小朝に入門。春風亭ぼっぼとして前座修行を開始する。二ツ目・春風亭びっかり☆時代に「浅草芸能大賞」新人賞を受賞。[NHK 新人落語大賞]では3度になつて決勝に進出する。10日間連続独演会、全国ツアー、海外公演など若手としては異例づくしの落語活動を展開し、「笑点」若手大喜利・女流大喜利をはじめとするテレビ出演や、ラジオ番組のパーソナリティも多数。女優として明治座「ふるあめりかに袖はぬらさじ」(主演・大地真央)など舞台公演、沖縄国際映画祭出演作品「耳かきランデブー」(主演)など映画にも出演する。2022年3月、待望の真打昇進。これを機に高座名を「蝶花楼桃花(ちょうかろう・ももか)」と改め、七代目・蝶花楼馬楽の没後途絶えていた歴史ある亭号を復活させる。都内5軒の寄席で開かれた昇進披露興行、昇進から史上最大4か月で抜擢の初主任興行(浅草芸芸ホール)はいずれも大入り記録。9月には女性落語家として史上初めて、人気番組「笑点」のレギュラー大喜利に出演、話題を呼ぶ。
オフィシャルサイト <https://momoka.club/>

笙っておもしろい!

Vol. 156

7/19 (水) 18:45~
出演: 真鍋尚之 (笙)

作曲家・雅楽演奏家。作曲および演奏での受賞多数。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。豊かな表現力で笙を自在に操る姿は「笙のバガニニ」とも呼ばれ賞賛されている。2011-12年、文化庁文化交流使としてドイツ・ベルリンを拠点に、12か国30以上の都市で活動。笙の新しい可能性を追求した作品を作るための共同作業をおこない、ソロを中心に50回以上の演奏会を開いてきた。伝統に根ざしながら独奏楽器としての笙の地位を確立させ、さらに超絶技巧を用いた作品の演奏で笙の魅力を飛躍的に発展させた。クラスノヤノスク国際室内楽音楽祭(ロシア)から笙と弦楽オーケストラのための作品の委嘱を受ける。パラグアイ・アスンシオンにてオーケストラと声楽・合唱のための1時間に及ぶ「Acosta Nu」を初演。作品は世界中で演奏されている。また雅楽を日本や世界に紹介する企画もプロデュース。ドイツ・ロシア・オーストリア・スペイン・フランス・アイルランド・アメリカ・中南米でも雅楽の本格的な上演を実現している。有能な若手を集め Naoyuki MANABE GAGAKU Ensemble を結成。伝統作品を新たな演奏方法・構成により上演し注目を集めている。洗足学園大学(専攻/作曲・声楽)および東京芸術大学邦楽科雅楽専攻卒業。作曲および演奏での受賞多数。 <http://sho-manabe.net>

バンドウーラ っておもしろい!

Vol. 157

10/25 (水) 18:45~
出演: ナターシャ・グジー (歌、バンドウーラ)

ウクライナ生まれ。ナターシャ6歳のとき、1986年4月26日未明に父親が勤務していたチェルノブイリ原発で爆発事故が発生し、原発からわずか3.5キロで被曝した。その後、避難生活で各地を転々とし、キエフ市に移住する。ウクライナの民族楽器バンドウーラの音色に魅せられ、8歳の頃より音楽学校で専門課程に学ぶ。1996年・98年救援団体の招きで民族音楽団のメンバーとして2度来日し、全国で救援公演を行う。2000年より日本語学校で学びながら日本での本格的な音楽活動を開始。その美しく透明な水晶の歌声と哀愁を帯びたバンドウーラの可憐な響きは、日本で多くの人々を魅了している。2005年7月、ウクライナ大統領訪日の際、首相官邸での夕食会に招待され、演奏を披露。2016年7月、これまでの活動が評価され、外務大臣表彰を受ける。コンサート、ライブ活動に加え、音楽教室、学校での国際理解教室やテレビ・ラジオなど多方面で活躍しており、その活動は教科書にも取り上げられている。

ライブペインティング っておもしろい!

Vol. 158

12/8 (金) 18:45~
出演: 近藤康平 (ライブペインティング)、他

ライブペインティングパフォーマンス(絵描き)。鳥取大学大学院農学修士課程卒業。大学では森林学を学ぶ。ライブペインティングパフォーマンスとしてはテレビ出演、各種フェスティバル・ハウス・セミナーでのライブペインティング公演をおこなう。絵描きとしては画集刊行、個展、展覧会提供、書籍装丁、CDジャケット、舞台美術、様々な「絵」のジャンルで活動している。その活動は日本のみならず台湾、NYへと海外へ広がっている。茨城県取手市在住。twitter / instastagramID=kondo1975
【ライブペインティング】様々なミュージシャンの演奏に即興で絵を描いていくのを特徴とする。40分前後の時間で、音楽に反応(同期しながら、巨大なキャンバスに手の平をつかいてもその速度で、何度も景色を塗りかえていくパフォーマンス)は「このようなライブペインティングはみたことがない」、「映画をみているようだった」と好評を得る。その活動は国内各地のみならず台湾、NYなど海外にも広がっている。また手元で1曲につき1枚描きそれをプロジェクターで投影するスタイルも得意とする。これまでに倉山幸子(ex.ねごと)、新居昭乃、安藤裕子、猪狩翔一(tacica)、伊澤一葉(あっぱ、東京事変)、INO hidefumi、上野 皓平(The Songbirds)、おほはた雄一、オオヤクスケ(Polaris)、小山田壮平、Kan Sano、奇妙礼太郎、コトリノ、坂本美雨、笹川美和、Salyu、柴田隆浩(忘れらんねえよ)、竹内アンナ、竹原ピストル、Chima、寺尾紗穂、土岐麻子、NakamuraEmi、中村佳穂、成山剛(sleepyab)、Nikie、ハルカトミユキ、福原あは、U-zhan等とコラボライブなど様々なミュージシャンとライブペインティングセッションをおこなっている。2018年ドラム&エイトリー・ライブ・イン・アース(コネネリアス、mi-goなど)とベースカナビネティカロウと「calybio」を結成。2021年ピアノ&ソックス永田こせーと即興ユニット「夜空とビル」を結成。

詩的な声っておもしろい!

Vol. 159

2024年 2/22 (木) 18:45~
出演: Vox Poetica (ヴォクス・ポエティカ)
佐藤裕希恵 (ソプラノ)、瀧井レオナルド (リュート/テロポ)

佐藤裕希恵と瀧井レオナルドによる歌と撥弦楽器のデュオが綿密かつ色鮮やかに独自の世界観を描く。佐藤裕希恵はポーランドや山梨での国際古楽コンクール優勝をはじめ国際的に活動。瀧井レオナルドは名手ホプキンソン・スミスの元で学び著名な指揮者やソリスト、アンサンブルとの共演も多く、ソロ、通奏低音両面での定評が高い。二人はともにスイス、バーゼルの古楽専門音楽大学スコラ・カントルムで学び、2014年にデュオを結成。そのテーマは「VOX POETICA—詩的な声—」。二人の奏でる音は、まるで一本の糸に経られるかのごとく融合する。ヨーロッパを中心に、日本、ブラジルでもコンサートを行い、2017年より日本に拠点を据え、それぞれのソロの活動に加えて、デュオとしてコンサート、放送、CD録音、ワークショップなどの活動を続けている。2018年から東京でリサイタル、単独公演を定期的に開催。放送ではNHK FM「リサイタル・ノヴァ」出演。CDはソロCD「Dowland」「テロポと描く肖像」に加え「フェルメール〜絵の中の音楽」に参加。
www.voxpoetica-duo.com

サクソフォン・ソロの世界 っておもしろい!

Vol. 160

2024年 3/22 (金) 18:45~
出演: 上野耕平 (サクソフォン)

茨城県東海村出身。8歳から吹奏楽部でサクソフォンを始め、東京芸術大学器楽科を卒業。第28回日本管打楽器コンクールサクソフォン部門第1位・特別大賞(史上最年少)。2014年第6回アドルフ・サクソ国際コンクール第2位。現地メディアを通じて日本でも話題になる。指揮者・山田和樹氏には「耕平は1音を聴いただけで、ただ者ではないと思った!」、ポストン・ポップス・オーケストラの音楽監督であり指揮者であるKeith Lockhart氏には「サクソフォンのこんな音聴いた事がない。目が飛び出るほど驚いた!」と言わしめた。デビュー以来、常に新たなプログラムにも挑戦し、サクソフォンの可能性を最大限に伝えている。現在、国内若手アーティストの中でもトップの位置をしめ、演奏活動のみならず、NHK-FM「X(かける)クラシック」のMCやテレビ「題名のない音楽会」「情熱大陸」など、メディアへの出演も多い。サクソカルテット「The Rev Saxophone Quartet」、吹奏楽「ぼんだウインドオーケストラ」のコンサートマスターとしても活躍中。最新のソロアルバムは「アドルフに告ぐII」。2017年度第28回出光音楽賞受賞。2018年9回岩谷時子賞 奨励賞受賞。音楽以外にも鉄道と車をこよなく愛し、深く追求し続けている。
<https://uenokohei.com/>

入場料: 各公演とも3,000円 (販売開始日等の詳細は、ホームページ等でお知らせします)

お得な発見ライブ会員を募集しています!

〈会員年会費〉10,000円

〈会員になると〉

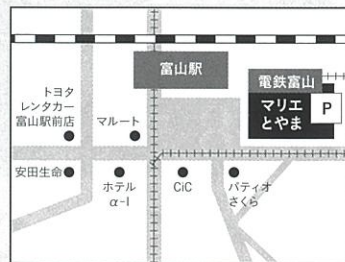
- ① 年会費1万円でプログラムVol.155~160の全6公演(1万8千円分)が鑑賞できます。(8千円もお得!!)
- ② 富山県民小劇場、富山県民会館、富山県教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホールが主催する指定した公演等のチケットが会員割引料金で購入できます。

〈申込方法〉

お電話、又はFAX、Eメールよりお申し込み下さい。チケット販売サイト「アーツナビ」のホームページからもお申込み可能です。※アーツナビの利用には、インターネット環境およびアーツナビ会員登録(無料)が必要です。

〈会費納入方法〉

富山県民小劇場(オルビス)窓口での現金支払い
又は下記口座へ銀行振込にてお支払い下さい。
口座名義/公益財団法人富山県文化振興財団
銀行名/北陸銀行県庁内支店
口座番号/(普通) 4007505
※振込手数料はお客様負担でお願いします。



■アクセス

富山駅から徒歩(約5分)、「バス」富山地下鉄バス 富山駅前停留所、有料駐車場あり

■タイムズマリエとやま駐車場

【駐車料金】30分毎に200円(2023年1月現在) 予告なく料金改定される場合がございます。ご了承ください。

発見ライブ入会申込書

申込日 年 月 日

FAX 076-445-4532

フリガナ	性別	生年月日
氏名	男・女・回答しない ※記入は任意です。	西暦 年 月 日
住所(〒 -)	電話番号 () -	
申込口数	新規・継続	お問合せ・お申し込み: TEL 076-445-4531 E-mail orbis@kenminkaikan.com 〒930-0003 富山市桜町 1-1-61 マリエとやま 7F 富山県民小劇場(オルビス)